

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第71期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社Cominix

【英訳名】 Cominix Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 柳川 重昌

【本店の所在の場所】 大阪市中央区安堂寺町一丁目6番7号

【電話番号】 06(6765)8201(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 林 祐介

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区安堂寺町一丁目6番7号

【電話番号】 06(6765)8201(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 林 祐介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第2四半期 連結累計期間	第71期 第2四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	12,442,726	11,891,521	25,511,098
経常利益 (千円)	508,403	338,709	1,104,887
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	288,752	207,626	674,837
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	218,848	167,147	566,977
純資産額 (千円)	5,171,655	5,494,548	5,444,166
総資産額 (千円)	14,724,865	14,640,595	14,982,191
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	42.04	30.23	98.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.9	37.2	36.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	218,152	235,036	330,482
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	164,795	90,479	238,873
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	491,602	300,474	40,161
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,753,968	1,725,103	1,766,046

回次	第70期 第2四半期 連結会計期間	第71期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	23.67	16.31

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指数等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

a. 財政状態

流動資産は、前連結会計年度末に比べて332,290千円減少し、11,999,760千円となりました。これは主に、新規商材の増加等により商品が175,894千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が467,054千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9,305千円減少し、2,640,834千円となりました。これは主に、減価償却により無形固定資産のその他が11,480千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて341,595千円減少し、14,640,595千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて549,376千円減少し、7,584,718千円となりました。これは主に、短期借入金が239,641千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が605,178千円、法人税等の支払いにより未払法人税等が142,445千円、役員賞与引当金27,600千円、賞与引当金が20,896千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて157,397千円増加し、1,561,328千円となりました。これは、長期借入金が110,315千円、退職給付に係る負債が33,237千円増加したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて391,978千円減少し、9,146,046千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて50,382千円増加し、5,494,548千円となりました。これは、利益剰余金が90,861千円（親会社株主に帰属する四半期純利益による増加207,626千円、剰余金の配当による減少116,764千円）増加した一方で、為替換算調整勘定が23,947千円減少したことなどによります。

b. 経営成績

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）における我が国経済は、雇用環境の改善や堅調な企業収益を受けて緩やかな回復基調で推移いたしましたが、米中貿易摩擦による経済成長の減速や金融資本市場の変動の影響に加え、消費増税後の国内消費の落ち込みへの懸念等により国内経済は不透明な状況となっております。

当社の属する工作機械及び機械工具業界は米中貿易摩擦の影響により企業の設備投資に慎重な姿勢がみられ、それに伴う需要減退により低調に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、新規エリアの開拓や新商材の拡販キャンペーン等、市場シェア拡大に向けての取組みを積極的に展開いたしましたが、厳しい事業環境を背景に業績は低調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,891,521千円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は354,707千円（前年同四半期比30.8%減）、経常利益は338,709千円（前年同四半期比33.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は207,626千円（前年同四半期比28.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

切削工具事業

切削工具事業につきましては、工作機械及び機械工具業界を取り巻く環境が低迷する中、新規営業拠点の設立、取扱商品の拡充、主力メーカーとのキャンペーン等、市場シェア拡大に向けての施策を実施いたしましたが、市場環境の低迷に伴う販売減を補完するに至らず売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は7,655,225千円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント利益は202,494千円（前年同四半期比24.6%減）となりました。

耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、主力販売先である製缶業界への取組みをはじめとして、製袋・電池・破碎刃等の業界へも積極的に展開いたしましたが、前年度と比較して大口設備投資案件が減少したことを主因として売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,259,503千円（前年同四半期比13.9%減）、セグメント利益は103,202千円（前年同四半期比32.0%減）となりました。

海外事業

海外事業につきましては、人材の拡充やインドに新たな拠点（ニムラナ事務所）を7月に開所する等、グローバル展開の加速化への取組みを実施いたしましたが、米中貿易摩擦の長期化等の影響により、アジア・北米において自動車関連の需要が減退したことを主因として売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,331,309千円（前年同四半期比7.8%減）、セグメント利益は7,845千円（前年同四半期比87.6%減）となりました。

光製品事業

光製品事業につきましては、主にフラットパネルディスプレイ業界向けの販売が増加したことにより売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は645,482千円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は46,536千円（前年同四半期比69.2%増）となりました。

c. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,725,103千円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、235,036千円（前年同期は218,152千円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益338,709千円、売上債権の減少額460,214千円、減価償却費61,731千円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少593,589千円、たな卸資産の増加額186,626千円及び、法人税等の支払額251,895千円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、90,479千円（前年同期は164,795千円の使用）となりました。

支出の主な内訳は、保険積立金の積立による支出32,711千円、有形固定資産の取得による支出25,186千円、基幹システムの追加案件等に伴う無形固定資産の取得による支出17,411千円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、300,474千円（前年同期は491,602千円の獲得）となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入400,000千円及び短期借入金の増加額250,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出231,319千円、配当金の支払額116,497千円などであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに発生した課題はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	9,600,000
計	9,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,868,840	6,868,840	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、権利内容 に何ら限定のない当社の標準とな る株式であります。なお、単元株 式数は100株であります。
計	6,868,840	6,868,840	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		6,868,840		350,198		330,198

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式 数の割合(%)
林 祐介	大阪府吹田市	871,200	12.68
Cominix従業員持株会	大阪府大阪市中央区安堂寺町1-6-7	534,892	7.78
大阪ビジネスプランニング有限会社	大阪府吹田市千里山松が丘12-18	492,000	7.16
柳川 修一	中国広州市	425,600	6.19
柳川 重昌	大阪府岸和田市	372,000	5.41
柳川 十糸久	大阪府豊中市	346,050	5.03
柳川 妙子	大阪府岸和田市	333,600	4.85
柳川 歩	大阪府豊中市	245,250	3.57
宿 淳子	大阪府大阪市北区	228,800	3.33
柳川 雄豊	大阪府豊中市	210,050	3.05
計		4,059,442	59.10

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,866,100	68,661	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社の標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 2,440	-	-
発行済株式総数	6,868,840	-	-
総株主の議決権	-	68,661	-

(注) 「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式35株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社Cominix	大阪市中央区安堂寺町 1丁目6番7号	300		300	0.00
計	-	300		300	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,857,866	1,819,804
受取手形及び売掛金	5,352,713	4,885,658
商品	4,817,492	4,993,387
その他	351,395	341,923
貸倒引当金	47,416	41,014
流動資産合計	12,332,051	11,999,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	312,850	312,694
土地	891,806	891,806
その他(純額)	146,862	139,189
有形固定資産合計	1,351,519	1,343,690
無形固定資産		
その他	231,869	220,388
無形固定資産合計	231,869	220,388
投資その他の資産		
その他	1,083,569	1,093,968
貸倒引当金	16,819	17,213
投資その他の資産合計	1,066,750	1,076,754
固定資産合計	2,650,139	2,640,834
資産合計	14,982,191	14,640,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,186,339	4,581,160
短期借入金	1,697,913	1,937,554
1年内返済予定の長期借入金	419,532	477,898
未払法人税等	246,063	103,618
賞与引当金	192,200	171,303
役員賞与引当金	46,640	19,039
その他	345,405	294,143
流動負債合計	8,134,094	7,584,718
固定負債		
長期借入金	916,995	1,027,310
役員退職慰労引当金	213,328	223,328
退職給付に係る負債	263,775	297,012
その他	9,831	13,677
固定負債合計	1,403,930	1,561,328
負債合計	9,538,024	9,146,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,682,091	4,772,953
自己株式	219	219
株主資本合計	5,362,268	5,453,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,219	5,341
為替換算調整勘定	17,454	6,493
その他の包括利益累計額合計	39,673	1,151
非支配株主持分	42,224	42,569
純資産合計	5,444,166	5,494,548
負債純資産合計	14,982,191	14,640,595

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,442,726	11,891,521
売上原価	9,815,447	9,359,435
売上総利益	2,627,278	2,532,086
販売費及び一般管理費	2,114,560	2,177,378
営業利益	512,717	354,707
営業外収益		
受取利息	830	1,006
受取配当金	2,648	3,037
仕入割引	29,263	15,217
補助金収入	11,566	11,826
保険解約返戻金	15,006	118
その他	2,177	9,637
営業外収益合計	61,493	40,843
営業外費用		
支払利息	11,122	14,055
売上割引	21,517	22,030
為替差損	19,477	12,573
その他	13,689	8,181
営業外費用合計	65,807	56,841
経常利益	508,403	338,709
税金等調整前四半期純利益	508,403	338,709
法人税、住民税及び事業税	231,246	114,217
法人税等調整額	18,510	15,926
法人税等合計	212,735	130,144
四半期純利益	295,667	208,564
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,914	938
親会社株主に帰属する四半期純利益	288,752	207,626

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	295,667	208,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,897	16,877
為替換算調整勘定	82,716	24,540
その他の包括利益合計	76,819	41,417
四半期包括利益	218,848	167,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,913	166,801
非支配株主に係る四半期包括利益	3,934	345

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	508,403	338,709
減価償却費	45,615	61,731
のれん償却額	25,392	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,688	6,082
賞与引当金の増減額(は減少)	5,146	20,970
役員賞与引当金の増減額(は減少)	17,728	27,604
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	24,723	33,139
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,799	9,999
受取利息及び受取配当金	3,479	4,043
支払利息	11,122	14,055
為替差損益(は益)	1,311	619
売上債権の増減額(は増加)	154,933	460,214
たな卸資産の増減額(は増加)	539,669	186,626
仕入債務の増減額(は減少)	33,013	593,589
保険解約返戻金	15,006	118
その他	122,851	55,968
小計	50,386	22,227
利息及び配当金の受取額	3,477	4,042
利息の支払額	7,987	9,411
法人税等の支払額	264,028	251,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,152	235,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	94,519	25,186
無形固定資産の取得による支出	53,544	17,411
投資有価証券の取得による支出	5,900	9,088
定期預金の預入による支出	2,692	2,879
保険積立金の積立による支出	28,633	32,711
保険積立金の解約による収入	2,173	744
保険積立金の満期による収入	20,258	-
その他	1,935	3,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	164,795	90,479
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	230,000	250,000
長期借入れによる収入	600,000	400,000
長期借入金の返済による支出	261,462	231,319
自己株式の取得による支出	36	-
配当金の支払額	75,214	116,497
非支配株主への配当金の支払額	1,684	1,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	491,602	300,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,157	15,901
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	79,496	40,942
現金及び現金同等物の期首残高	1,674,472	1,766,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,753,968	1,725,103

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	117,860千円	
支払手形	23,071千円	

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給料及び賞与	723,390千円	742,827千円
賞与引当金繰入額	175,044千円	171,303千円
役員賞与引当金繰入額	23,805千円	19,167千円
退職給付費用	56,055千円	52,832千円
役員退職慰労引当金繰入額	9,799千円	9,999千円
貸倒引当金繰入額	1,690千円	2,808千円
減価償却費	45,615千円	61,731千円
のれん償却額	25,392千円	-千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	1,842,912千円	1,819,804千円
預入期間が3か月を超える定期預金	88,943千円	94,701千円
現金及び現金同等物	1,753,968千円	1,725,103千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	75,554	11.00	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月31日 取締役会	普通株式	75,554	11.00	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月24日 定時株主総会	普通株式	116,764	17.00	2019年3月31日	2019年6月25日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月5日 取締役会	普通株式	75,553	11.00	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,832,140	1,463,488	2,527,652	619,444	12,442,726	-	12,442,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,769	-	7,263	-	10,033	10,033	-
計	7,834,909	1,463,488	2,534,916	619,444	12,452,759	10,033	12,442,726
セグメント利益	268,675	151,867	63,401	27,499	511,443	1,274	512,717

(注)1 セグメント利益の調整額1,274千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,655,225	1,259,503	2,331,309	645,482	11,891,521	-	11,891,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	9,837	-	9,837	9,837	-
計	7,655,225	1,259,503	2,341,146	645,482	11,901,358	9,837	11,891,521
セグメント利益	202,494	103,202	7,845	46,536	360,080	5,372	354,707

(注)1 セグメント利益の調整額5,372千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	42円04銭	30円23銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	288,752	207,626
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	288,752	207,626
普通株式の期中平均株式数(株)	6,868,608	6,868,505

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

第71期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当について、2019年11月5日開催の取締役会において、2019年9月30日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	75,553千円
1株当たりの金額	11円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年12月2日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

株式会社Cominix
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千葉 一 史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 剛 士 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社Cominixの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社Cominix及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。